

平成25年度 市長と語る市政懇談会 平坂地区 会議録

日 時 平成25年10月18日（金） 午後6時30分～8時30分
場 所 西尾勤労会館（体育館ホール）
出席者 町内会長始め団体の代表者 33名、自由参加 5名
市議会議員
神谷庄二議員、稲垣正明議員、中村眞一議員、大河内博之議員、松崎隆治議員
市 側
市長、神谷副市長、小島副市長、教育長、企画部長、子ども部長、
地域振興部長、環境部長、建設部長、上下水道部長、教育部長、
市民病院事務部長、消防長、企画部次長、総務部次長、福祉部次長
進 行 永田三一 代表町内会長 <矢田小校区>
提言件数 11件 自由意見 4件

【市長あいさつ】

皆さまこんばんは、お元気で何よりです。市長の榊原康正でございます。今日は、ご多用の中をたくさんの皆さまにお集まりいただき、ありがとうございます。

まず、お礼を申し上げます。5月に行われました市長選挙におきまして、大きなお力をいただきましてありがとうございました。

この地区は本当に力があると申しますか、その象徴といたしまして、今この地区では、土地区画整理事業が3か所で行われております。1つ目は、平坂東部土地区画整理事業で、これは富山町付近になりますが、平成28年度末の完了を予定しております。2つ目は、吉山土地区画整理事業で、平坂中学校のすぐ東側になりますが、平成26年度末の完了を予定しております。3つ目は、西尾羽塚西土地区画整理事業で、先ほどの吉山地区のすぐ東側になりますが、まだ事業着手したばかりで、完了は平成30年度末を予定しております。これらの土地区画整理事業を行うことによりまして、皆さま方が家を建てていただき、この地域の活性化、繁栄は間違いないと私は確信をいたしております。

また、この地域の皆さまから長年ご要望がございました「矢田ふれあいセンター」を建設中で、西尾市では15館目の公民館・ふれあいセンターとなります。来年5月に開館を予定しております。多くの皆さまにご利用いただき、この場を拠点として地域の皆さま方の活気をどんどんと出していただきたいと思います。

今、西尾市では、保育園や幼稚園の園庭や小学校の校庭の芝生化を進めております。昨年は平坂小学校の皆さまにお願いをしました。今年は矢田小学校の皆さまにお願いをしまして、先日、盆踊り大会に私も参加させていただきましたが、非常によく手入れをしていただいております。この芝生化を行うことによりまして、子どもたちが本当に元気になります。運動会にも行きましたが、非常に元気で、それにつられまして先生や保護者の方まで裸足で一緒に参加をしていただいております。これも地域の皆さまのお力を借りて、芝生の植え付けは市でやらせていただきますが、維持管理は地域の皆さまにお願いをしていくということでありまして、こ

れも一つ地域の皆さまが集まっていたいで絆をより深めていただく効果もございますので、これからもどんどんと芝生化を進めていただきたいと思います。

それと今、この地域の羽塚町、新在家町、国森町の一部で公共下水道の整備を進めておりまして、来年の4月から下水道が使用できるようになります。ぜひ皆さまにお願いしたいのですが、接続をできたら早くしていただきたいと思います。とにかくこの地域の環境を美しくすることが今の我々の使命でございます。接続をされますと随分と環境がきれいになりますのでよろしく願います。

市では、いろいろな事業をやっているのですが、なかなか市民の皆さま方に伝わりません。ぜひ、お伝えしたいということで、昨年度から「市民協働ガイド」という制度を設けました。これは10人くらいの方にお集まりいただければ、市の職員が伺い、市で行っていることをお伝えすると同時に皆さま方のご要望もお聞きします。できるだけ直接、市民の皆さま方と接触をしてお互いのコミュニケーションを深めてまいりたいと思いますので、ご連絡いただければ、必ず職員が伺います。

合併をいたしまして2年半。今ちょうど、西尾市制60周年のいろいろな記念事業を行っております。60周年を盛り上げるためにぜひ、皆さま方のお力もお借りしたいと思いますので、いろいろな所でご参加をいただきたいと思います。今日はいろいろなお話を皆さまとさせていただきたいと思いますのでよろしく願います。

【代表町内会長あいさつ】

皆さまこんばんは、矢田小校区代表町内会長の永田でございます。今、市長がおっしゃったように西尾市は17万人の人口です。「西尾市において一番信用できる人」また、「一番信頼できる人」と言われたら、私は「榊原市長」とお答えいたします。そして市長が任命されました幹部職員の方も本当に信頼申し上げております。しかし、失礼な言葉かもわかりませんが、この広大な西尾市で市民17万人の声に耳を傾けるということは、どうかなと実感しております。というようなことで今日、意見や質問を申し上げる人たちが地域の発展のために自分たちが責任を持って活動をしているわけです。その活動の中においては非常に心配なこともあります。そして責任もなければならぬというプレッシャーもあろうかと思えます。ということで市長を始め、市の幹部の皆さんのお顔を見て直接自分たちの意見・要望を申し上げます。そういう面においては質問する方も真剣でございます。回答いただける方たちも、親切丁寧に回答いただけると私は信じております。

帰る時には「発言して良かった。」「質問して良かった。」ということがなされるように私からも祈念申し上げましてあいさつとさせていただきます。どうかよろしく願います。

【意見・要望と回答】

1 平坂町第3区町内会長

○ 都市計画マスタープラン各施策の推進状況の見える化について

都市計画マスタープランについては、大変大きなテーマで推進されていると思うが、アピール度が少ないと思う。市民に何パーセントくらい理解されているのかが重要なことだと思います。都市計画マスタープランの推進状況は、ネット等で確認できる様になっているが、非常に文章が多く文字も小さいのでわかりにくい。大事なテーマをもっと皆にアピールできるような方法（見える化）がないかと思い、今回要望しました。

個人的要望としては、3つありまして1つは各施策の目標に対し結果を数値、グラフ等で掲載し、市民に対して改善の変化を解りやすくしていただきたい。

2つ目は 成果の出た施策については、改善前や改善後を写真や数値で比較でき、分かりやすく見られるようにしたらどうか。

3つ目はこうした成果を掲示板などで張り出したらどうか。例えば市役所の1部屋くらいを使ってもよいほどの取り組みだと思います。

各地域は大変大きな問題を抱えていると思うので、市民、地元住民の参画意識を高め、その意見を吸い上げ、それをうまく利用し、市民と協働で取り組んでいく必要があると思います。

建設部長／ご発言のとおり、私共も少しでも、どのようにすれば皆様に、都市計画マスタープランの進捗状況をご理解頂けるか苦慮しているところでございます。

都市計画マスタープランの策定経過は、先ほど言われたとおり、現在、市ホームページで会議資料及び会議議事録を掲載しております。内容の都合上、どうしても文字が多くなりますが、ご意見のとおり、数値やグラフ等も活用し解りやすくなるよう努めてまいります。

ご意見・ご要望を頂きました都市計画マスタープラン各施策の推進状況の見える化については、事業の進捗状況や成果の評価・検証を実施し、市民の皆様が理解しやすいように工夫していきたいと考えています。

また、市民の皆様からの意見をお聞きする方法として、市民意見交換会を6地区で開催、その他に西尾商工会議所、一色町商工会、西尾みなみ商工会の役員及び会員の皆様とも意見交換会を行いました。この意見交換会で頂いた多くの意見を都市計画マスタープランに反映させてまいりたいと考えております。

今後は、皆様などからのご意見等を伺うため、都市計画マスタープランの素案がまとまりましたらパブリックコメントを実施し、参画意識がより一層あがるよう努力してまいります。

平坂町3区会長／意見交換会の内容は、具体的にまとまっていますか。重要度の高いものからやっていくということですか。

建設部長／都市計画マスタープランというのは、まず20年先を見てそれから10年後のあるべき姿はどうあるべきかをまとめたものです。西尾市の総合計画を一番の手本として、その範囲の中で西尾市のあるべき姿をどうするのかを議論しているのが、都市計画マスタープランであります。

2 平坂町第 17 区町内会長

○ メタボ追放などの健康管理に役立つ自転車専用道路の整備をよろしくお願いします

最近、道路で自転車が熱心に走っているのをよく見かけますが、スピードが出ており危ないと思います。私も休日など時間があればスポーツ自転車に乗り、近隣の街、安城市や豊田市へ行きますが、自転車専用道路が長い区間でできております。平坂を出て安城を通り豊田へ行くという順路を通ると、西尾から自転車専用道路までの間が大変危険です。自転車は車道の左側を通らないといけないので、左側から車が出てきたとき、接触する心配が大きく、大変危険です。安城や豊田のように専用道路をつくっていただきたいと思います。西尾市の考え方をお聞きします。

建設部長／自転車の利用につきましては、健康面、またエコの面からも大変有効であり、市といたしましても通勤時の自転車利用を推奨しているところでございます。

しかし、新たな自転車道、既設道路での自転車レーンなどの整備につきましては、用地確保など多大な経費が必要となり、現在のところ計画しておりません。

健康管理面でのサイクリングということでございますが、現在、西尾市には矢作川河川敷内にある中畑町の矢作川西尾緑地に延長 2.8 キロメートル、八ツ面町や天竹町から笹曾根町にある古川緑地に延長 3.0 キロメートル、古川右岸 1 号緑地に延長 2.0 キロメートルのサイクリングロードがありますのでご利用いただきたいと思います。

平坂町 17 区会長／やはり費用面で難しいところがあると思いますが、努力していただきたい。

3 平坂町第 5 区町内会長

○ 環境美化、地域活動

平坂地区には花が少ない。他の町では、交差点等の花壇など、良い環境がありますので、今回要望させていただきました。

主要な交差点等に交通に支障のない程度に花壇を置き、四季折々の花を植えれば心が安らぐと思います。当然、維持管理も必要ですので、学生や地域住民等で手を入れ管理すれば、町もきれいになり、地域での「きずな」や「ふれあい」も生まれると思ひ、要望をさせていただきました。

建設部長／ご提案いただきましたように、四季折々の草花を植えることは、町並みのうるおいと、地域のふれあいも深まり、絆づくりの、きっかけの一つになると考えております。

現在、名鉄西尾駅から市役所までの間などで、鶴城丘の高校生のボランティアによる、フラワーポットの花の植栽は、大変、好評でございます。

道路に花壇やフラワーポット、プランターを置く場合には、歩行者の安全確保の観点から基準がありますので、場所等につきましては土木課にご相談ください。

市では公園や道路の清掃、除草、見廻り等のボランティア作業で、応援していただく「アダプト・プログラム」という制度があります。

登録していただきますと、市が、参加団体のボランティア保険への加入、清掃に必要な簡単な道具、ごみ袋を提供させて頂いております。

現在、登録団体は18団体、730人余が登録し、活動して頂いております。

花壇やフラワーポット等は、ボランティア活動であります、アダプト・プログラム等で市との協働ができればありがたく存じます。

教育部長／私からは小・中学校の関係をお話いたします。環境美化、地域活動につきましては、各学校において、清掃活動や校内花壇の整備などに取り組んでいます。

特に、清掃活動等のボランティア活動が盛んで、平坂中学校は毎月10のつく日の朝、近くの神社や公共施設の草取りやゴミ拾い等の奉仕活動を行っています。また、「クリーニングプロジェクト in 平中」という行事では、校区全体の清掃活動を行っています。

環境美化活動については、前向きに取り組んでまいりたいと考えておりますので、校区内の小中学校におきまして、学校近くの花壇などの管理について、参加・協力を進めてまいりたいと思います。

4 中畑町第11区町内会長

中畑地区の下記道路交通網などの整備について説明をお願いしたい

① 道路交通網の整備

中畑工業団地を基点とした道路網の整備促進

市道中畑92号線の交差点改良

② 名鉄三河線の跡地整備

既設道路の拡幅と併せた跡地整備

1点目の中畑での道路の整備網ということですが、現在中畑には2つ工業団地があります。西野町と中畑工業団地です。そこを中心に今後も工業誘致が進めば産業道路が整備され、交通量も多くなります。産業車両が多く走ることが予想されるので、周辺道路の拡幅とか整備をお願いしたい。現在中畑工業団地は、247号まで102号線が7か年計画で伸びることになっており、それ以上の話はないということになります。したがって、2団地を中心にもう少し中畑町の発展のために道路整備をしていただきたいと思います。

2点目の名鉄三河線の跡地の件ですが、中畑では中畑橋から平坂に向かって線路の堤防が残っており大変、邪魔です。市有化して整備することはできませんか。放っておくのは良くないと思います。市の考え方を説明してもらいたい。

①建設部長／私からは道路交通網の整備について、お話しさせていただきます。ご要望のとおり現在、中畑地域におきましては道路交通網の整備に全力を尽くしているところでございます。

中畑工業団地を縦断します、市道中畑102号線と県道岡崎碧南線を結ぶ、市道平坂93号線につきましては、平成28年度末の完成を目標に、現在用地取得を進めさせていただいております。

また、中畑橋東信号交差点につきましても、市道平坂93号線の開通に合わせ、北側の県道に右折レーンを設置する予定をしていますので、時期がきましたら、地権者の皆様や地域の皆様には是非、ご協力をお願いします。

次に、堀割川を埋めて道路としました、市道中畑92号線と県道蒲郡碧南線の交差点改良につきましては、現在のところ、計画は無いと県から伺っておりますので、交通安全には気をつけて通行していただきますよう、お願いします。

②企画部次長／私からは2番目の名鉄三河線の跡地整備について、お話しさせていただきます。

名鉄三河線廃線敷地を市が購入し活用することにつきましては、従来から名鉄と交渉してきたところではありますが、残念ながら現在、協議が整っていない状況でございます。その主な原因は、名鉄からの全線一括での購入要望に対し、市の方針は、道路、水路や公園用地として必要な箇所だけの購入を示してきたためでございます。

道路の拡幅の件につきましては、今年度は、地域の皆様から拡幅要望の高い、市内の旧踏切交差道路5箇所を借地することで名鉄と協議が整っておりまして、現在、整備を進めているところでございます。

今後も、地域の皆様からご要望をいただければ、借地により拡幅整備が可能な箇所につきましては、強く名鉄に働きかけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

5 中畑町第4区町内会長

○ ゲリラ豪雨（集中豪雨）等による水害調査と対策

中畑町の中央には掘割という川が流れております。この川は平成24年度に二度中畑町内でゲリラ豪雨（集中豪雨）により床下浸水、道路冠水、車水没の被害が発生しました。私もその川のすぐ近くに住んでおり、車2台と床下浸水の被害にあっておりますし、近隣の方々も同じような被害を受けております。2年前の東日本大震災に伴い、市としては大地震とか、それに伴う津波対策については進められておりますが、ゲリラ豪雨に対する対策や工夫はあまり進んでいないと思います。何百年に1度の災害はもちろんです、毎年起こる災害に対しても、市として対策をとっていただきたいと思っております。

1点目に、掘割川沿線の件ですが、掘割川は排水ポンプが2基設置されていると聞いております。最近では100mm前後の猛烈な雨が降る可能性があるが、掘割川のポンプにそれだけの能力がありますか。その能力が不足なら費用がかかると思うが、排水量を確保していただきたい。それからもう1つは、排水ポンプを稼働させる仕組みですが、手動で起動している聞いています。私たちの心配は、深夜にこういう事態になった時、ちゃんと起動できるのかという事です。また最近では、水量の上がり方が非常に速くなっており、大変心配です。起動する人は数人でやっており、人によってスイッチを入れるタイミングに違いがあると思っております。それを統一するとか、水位計を付けて自動でポンプを起動させる等の対策をお願いしたい。

2点目に、避難信号の発信ですが、川の周辺の低いところでは、水位計等の設置により、何らかの形で避難信号を出していただく方策を考えていただきたい。

それから技術的なことは分かりませんが、道路が低い位置にあるので、浸水に対して堤防の整備などでうまく対応できるのであれば、進めていただきたいと思っております。

最後にゲリラ豪雨により、市内で災害が出ている訳ですが、市のホームページで水害の関係を見ても、ゲリラ豪雨の掲載はありませんでした。矢作川の堤防が決壊したとか、古川の堤防が決壊した時には「こういう風になりますよ」というハザードマップがありますので、ゲリラ豪雨に対してのハザードマップも市全体として検討してもらいたい。

建設部長／ 昨年度のゲリラ豪雨以後も、ご心配をおかけしております。その反省をふまえて、早期の改善策として平坂排水機场上流の浚渫工事、排水機場のフラップ弁の更新工事などを行ってまいりました。

昨年9月11日のゲリラ豪雨では、日雨量94mmであります。時間最大58mmの雨量でした。異常気象と言われていることから、予測は非常に難しいですが、昨年の雨量データは、今後、県営事業で実施する排水機場更新時のポンプ能力の検討に使用されると考えます。

1点目のポンプの能力があるかというご質問であります。平坂、堀割排水機場は、24時間で農地のたん水被害を解消する能力で設置されているため、ゲリラ豪雨では、浸水被害を解消するまでの能力は有していないと考えます。

このようなことから、現在の公共下水道雨水排水計画では、平坂排水機場西側に、新設で雨水ポンプ場の設置計画があります。来年度より、本地区の雨水整備計画を見直す予定となっております。(土木課)

次に排水ポンプを稼働させる仕組みのご質問であります。排水機の運転につきましては、管理人さんも少しでも被害を少なくするために、色々工夫をさせていただいております。現在、複数の管理人で運転をお願いしており、天候の状況から排水路の水位、潮位を考慮し運転をしています。昨年9月より、早めの予備排水もお願いしております。市や消防の判断で昼夜を問わず運転要請をさせていただいているところです。

また、管理人の出動までの時間ロスをなくすため、排水機を自動運転にすることも考えられますが、停電時の対応や、機械設備、受電設備、除塵機、重油などの貯蔵タンク等の万が一の故障時の対応などが必要な場合がありますので、速やかに復旧作業ができるように、運転時には、常駐をお願いしており、管理人では、対処できない場合は、市の担当者に連絡していただく体制になっています。このようなことから、自動運転は考えておりません。

今後も最適な排水機の運転ができますよう研究してまいりますので、ご理解をお願いします。(土木課)

次に堀割川右岸堤防の対策につきましては、ゲリラ豪雨等により河川の水位が上昇している状況では、道路又は宅地に降った雨が川へ流れなくなり、浸水がおきるため、護岸の嵩上げによる浸水対策は、あまり効果は期待出来ないと考えます。(河川港湾課)

次にゲリラ豪雨対策と津波対策の関連性はというご質問ですが、ゲリラ豪雨時には、堀割川の水位と潮位を考慮して、平坂樋門の開閉と平坂排水機場の運転で排水を行っています。

一方、地震による津波時には、平坂樋門の閉鎖を行い海水の流入を防いでいます。

このように、ゲリラ豪雨対策と津波対策を使い分け、適切に管理できるよう、今後も努力してまいります。(土木課)

総務部次長／ 3番目の質問についてお話しします。昨年の大雨と浸水被害後、速やかに関係各課と話し合いをさせていただいております。浸水エリアは、当地区と市街部を含め3箇所ございましたが、今年度、亀沢町に下水関係であります。一時試験的に赤色回転灯式の物を導入し、検証してまいりますのでよろしく申し上げます。(防災課)

それから土のうの件ですが、以前は勤労会館の備蓄しかなかった訳であります。昨年の大雨後、すぐに勤労会館と平坂防災倉庫の二箇所に備蓄し、数も300から600個に増強いたしました。個人や地域でご活用頂ければと存じます。また台風や大雨などのときは、その時に取りに行っているのでは、間に合わない可能性もあります。平常時からある程度備蓄しておくこともお勧めいたします。(防災課)

中畑町4区会長／先ほどポンプの容量が不足しているという話がありました。これは今だとどれくらいの能力がありますか。例えば何ミリの雨量に対して対応できる排水量がありますか。はるかに低いという事ですか。

建設部長／まず平坂の排水機場には2つのポンプがあります。径は800mmと1000mmでございます。800mmの方は1秒当たり1.3t、1000mmの方は2tの排水をすることができます。このポンプというのはもともと農地の冠水を防ぐ目的でございますので、宅地並みの容量ではないという事です。これは運転で努力するものと考えております。

中畑町4区会長／農地を守るためにポンプを付けるという事よりも、宅地を守る方が大切です。宅地を守るためにどのくらいの設備が必要かという観点で回答してもらわないといけない。

上下水道部長／公共下水道の雨水整備計画について、回答させていただきます。当校区の浸水対策について申し上げますと、先ほど建設部長が申し上げましたとおり、将来的には今の平坂排水機場の西側に平坂雨水ポンプ場の建設を計画しております。これと同時に雨水ポンプ場へ流入するための各雨水の幹線、支線下水路の整備が必要です。今までも基本計画に基づきまして、緊急に整備を要する平坂雨水幹線や北町雨水幹線は、かなり整備させていただきました。しかし、上流の幹線下水路を整備しますと下流に負担がかかってきます。特にこの地区は潮位の影響を受けるという事で、今の時点では何を優先させるべきかと言いますと、やはり雨水のポンプ場の建設が第一でございます。当然、今すぐにでも取り掛かりたいですが、平坂雨水ポンプ場1か所建設するのに、1口に約50億円、それから幹線下水路の整備も合わせるとそれ以上の膨大な事業費を要するわけでございます。この雨水対策の場合は、下水の污水管の整備と違いまして、受益者負担金をいただくことができなく、すべて公費で工事を行う事になります。今、地元の皆様が早急な整備を求められることは、十分分かりますが、今の計画では、污水管の整備がある程度目途がつく平成33年度以降に本格的に雨水事業に着手していく予定でございます。数十億円かかる事業を市単独で行う事は不可能なので、先ほど建設部長が申しましたように建設部が管理している平坂の排水機場の排水能力に頼らざるを得ないという事でございますので、ご理解をお願いします。

中畑町4区会長／とにかく能力が秒速3.3tという話が雨量がどれくらいまで対応できるのかという事を今、ここに数字がなければ、また教えてほしい。われわれは、雨量を見ながら年に何回も車を移動したり、避難したりしている状況なので、よろしくをお願いします。それからポンプを動かしているかどうかは、私たちは水面を見れば分かります。水位が高くても水面が動かず、ポンプが稼働していない時があります。その時に市に連絡すると、今、調査しますとか、1台しか動いていませんという事が度々あるので、始動のタイミングはしっかりとお願いします。

建設部長／私どもは、サークルKとっております。24時間、勤務体制でおりますので、夜中でも即、市役所へ電話していただければ、連絡が入ることになっております。何かありましたら連絡をお願いします。

中畑小校区代表町内会長／集中豪雨は近年起きた例が多い。60年住んでいますが、ここ数年で起きていると感じます。今の回答を聞いていると、過去の延長線上での話だと思えます。市で新しく実際の雨量と水位上昇のデータをとり、市の計画にフィードバックする必要があると思う。大きな事故が起きたら事業費の問題ではないので、危機感を持った対応をお願いします。

上下水道部長／公共下水道の雨水計画で申し上げますと、時間50mmの雨量に対応する計画で進めております。一色に雨量観測所がございまして、この実測値をもとに5年に1度の確率で起こる豪雨に対応する計画であります。

6 民生児童委員（中畑小校区）

民生委員活動の主な任務は地域社会への貢献であり、高齢者、児童が主な対象者です。日頃の活動を通じて見聞きした様々な問題の中から平坂中地区の地域性を加味し、下記の2点について意見具申、要望をする。

① 一人暮らしの後期高齢者支援

1. くるりんバスの増発ならびに路線の延長、
2. (介護) タクシー補助券等の無償付与、
3. 移動スーパー設置

② 子育て支援…子供達が遊べる様な「自然公園（仮称）」を造ってほしい

今日は市長の決断1つで実施可能な具体的な要望をさせていただきます。

1点目に 一人暮らしの後期高齢者の支援ということですが、この方々の緊急の課題は、交通手段の確保です。免許がなく自動車の運転ができないし、自転車の運転もおぼつかない。そこで3つの提案をします。

1つはくるりんバスの本数が少ないので増やしていただきたい。更に当地区の小栗町、西小槲町に乗り入れて頂けると有難いです。

2点目は介護タクシー、あるいはタクシーチケットを無償で交付していただきたい。枚数は可能な限りでお願いしたい。

3点目は移動スーパーの設置と書きましたが、中畑町でも地元の八百屋さんなどはほとんどなくなってしまった。コンビニはありますが若者向けの商品しかないので、生活必需品を載せた小型のトラック等で移動スーパーを行ってほしい。

それからもう1つは、お母さん方から子どもたちがのびのびと遊んだり、散歩できるような自然公園をつくってほしいとの要望がありましたので、お願いします。

最後に1つお願いですが、2020年オリンピックのスピーチをきっかけに「おもてなし」という言葉がもてはやされています。おもてなしというのは、外からお客さんを接待して喜んでお帰りいただくという1回だけのものです。しかし、地域の福祉というのは、高度成長期を支えてこられた人たちへのいたわり、来るべき次世代の担い手である子どもたちを支援していく永続的な営みであります。国の根幹、基礎に関わる大事なことであります。その観点からきめ細かな配慮をお願いします。

地域振興部長／私からは1番目のくるりんバスの増発並びに路線の延長と3番目の移動スーパーについて、回答させていただきます。

今年度、西尾市全域の公共交通のあり方を示す「西尾市地域公共交通計画」を策定しております。本日も協議会を開催したところであります。すでに計画策定のための交通実態調査や市民及び利用者ニーズ調査を終え、データを持っておりまして、その中に六万石くるりんバスの増便や延伸も、市民の皆様からご意見としてご要望を頂いております。

市としましては、既存の公共交通であります路線バスやタクシーの領域は侵さないようにしながら、最低限確保すべき交通サービスとして、毎日の買い物や病院等へ通院する移動手段の確保は、とても重要であると考えております。今後の計画の中で、市内地域間が不均衡とならないよう、公共交通を総合的に見直してまいりますので、ご理解くださるようよろしくお願いいたします。

移動スーパーにつきましては、コンビニエンスストアなどの民間企業がサービスを提供している地域がございますが、当地域では今のところこのようなサービスが行われていないと認識しています。

また、移動スーパーではございませんが、生活協同組合が実施している宅配サービスがありまして、多くの方が利用していると聞いておりますので、ご利用いただければと思います。

福祉部次長／私からは高齢者のタクシーの補助という事で、お答えさせていただきます。一人暮らしの後期高齢者へのタクシー補助券等の無償付与につきましては、今のところ考えておりませんが、現在、公共交通のあり方について「西尾市地域公共交通計画」を策定中でありますので、高齢者等の交通弱者が買い物や通院をするための移動手段が確保できますよう意見を述べてまいります。

建設部長／私からは子どもたちが遊べる自然公園についてお答えいたします。子供を持つお母さん達の、自然の中で子供と遊び子育てできる公園が欲しいとのご意見は、ごもっともだと思います。

自然豊かな施設としましては、いきものふれあいの里、平原ゲンジボタルの里や、愛知こどもの国があります。また、現在、親子で楽しめる公園事業の第1期事業といたしまして、道の駅岡ノ山に隣接する、矢作古川左岸の「レクリエーションゾーン」の芝生広場やデイキャンプ場、散策路などの施設を、平成24年度から平成28年度の事業期間で整備を進めております。完成しましたら是非ご利用ください。

また、今後、新規公園の整備にあたりましては、公園用地の確保などがネックとなってまいりますので、区画整理事業などの街づくりによる整備や、用地をお借りし、整備を行なう借地公園等も、現在研究をしているところでございます。完成するまでの当面の間は、ご意見の「自然公園」については、愛知こどもの国などをご利用いただきますようお願いいたします。

今後も、いろいろな公園整備に努力をしておりますので、是非、お母さん達のご協力をお願いいたします。

7 中畑小校区代表町内会長

○ **中畑地区のふれあいセンターの検討状況について説明をお願いしたい**

先回も中畑地区のふれあいセンターについて、質問させていただきましたが、改めてお伺いします。

中畑は道が狭く昔からの住宅がたくさんあります。これは西尾市全体にも言えることだと思いますが、最近の若い人は区画整理ができた広い道のある地区へ皆出ていく傾向にあり、住む区域が変わってきています。中畑小学校区の中で防災や行事などでいろいろな議論をする機会を設けておりますが、やむを得ず公民館や小学校でやっている状況です。ぜひ、ふれあいセンターのような核になる施設が必要だと思います。先回もお願いしましたが、進行状況はどうなっているのかお聞きしたいと思います。

ぜひ平中校区として中畑のコミュニティーセンターの建設を進めることを改めてお願いします。

教育部長／中畑小学校区には公共施設がないことから、生涯学習の推進と、地域の交流の場の拠点となる施設建設の必要性は十分に感じております。

中畑ふれあいセンターにつきましては、具体的なことを申し上げることはできませんが、今後も引き続き、市全体の公共施設の再配置計画と併せて、財政面も十分に考慮しながら、建設について前向きに検討してまいります。

8 羽塚町第3区町内会長

○ **矢田小校区内の交通問題、特に交通渋滞の解消策についてお伺いしたい**

現在、矢田小校区内の道路については、東西方向は主な道路が5本程有り、渋滞も無くさほど不便は感じないが、南北の道路は米津から刈宿に抜ける309号線1本しかなく、特に国森町及び上矢田町地内の交通渋滞は年々激しくなっている。

以前から話題になっている都市計画道路の田貫徳永線の全線開通が、その解消策の1つのように考えますが、現在未開通部分がどの様になっているのか、その進捗状況をお聞かせ願いたい。

羽塚西の区画整理事業との兼ね合いもあろうかと思いますが、先ほど市長さんからは30年度までに完了という話があり、4、5年先という事になりますが、とにかく道路だけでも先行させて1年でも早く交通渋滞の解消をしていただきたい。

建設部長／交通渋滞では、大変ご迷惑をおかけしています。私どもも全力を尽くしているところでございますので、ご理解をいただきたいと思っております。

ご質問の都市計画道路田貫徳永線の市道平坂上矢田線（平坂中学校南側道路）と県道岡崎碧南線（西尾勤労会館北側道路）の間につきましては、羽塚西土地区画整理事業の進捗に合わせ、平成29年度末の完成を目標に事業を進めております。

これにより、県道岡崎碧南線との交差点に信号が設置され、県道西尾幸田線までの間が平成29年度末に全線供用開始の予定で、交通渋滞の解消に寄与できると考えております。

9 上矢田町第2区町内会長

○ **市道上矢田53号線先線の新在家ー上矢田1号線の拡幅整備をお願いしたい。**

また、その見込みについて教えていただきたい。

新在家上矢田1号線は、文化会館の西側から南に抜けた田んぼの中にある道路です。

背景としては、矢田小校区は南北に貫く県道刈宿住崎線の交通量が最近増えており、そこから生活道路へ迂回する交通量も増え、交通安全の問題が大きくなりつつあります。新在家上矢田1号線も最近交通量が増えておりますが、田んぼより北の西尾側は広がっており、反対の南側も工場誘致の関係で拡幅され整備されている。その間だけが非常に狭く、普通車がすれ違いうのが精いっぱい状況なので、ぜひ拡幅をお願いしたい。

建設部長／県道刈宿住崎線の交通渋滞につきましては、市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけしています。

ご要望いただきました、市道新在家上矢田1号線につきましては、県道の交通渋滞緩和のためにも重要な道路と考えています。

今年度より用地測量などを実施し、地権者のご理解を得ながら、来年度から用地確保に着手したいと考えています。

なお、今年度用地測量前には、関係者の皆様に説明会を開催する予定でございます。

10 矢田長寿会会長

○ **羽塚公園（仮称）の整備**

羽塚に大きな公園ができることは、新聞紙上で承知しております。

私ども老人会では、昔はゲートボールが非常に盛んでありました。ところが今では、グラウンドゴルフへ方向が変わっております。ぜひ羽塚の大きな公園はグラウンドゴルフができるように平面で整備していただきたい。

建設部長／この公園はご存知の方も多いと思いますが、寄付を頂いた土地を整備するもので、現在は、この土地の一部を羽塚町の町内会の方々のご協力により草取りなどの維持管理を行って頂いているところでございます。

今後は、地元関係者の意見を伺いながら計画づくりを進めていく予定です。

このくらいの規模の公園では、面積的にグラウンドゴルフ専用のコートを整備することはできませんが、土舗装の多目的広場を設置する予定でありますので、利用者どうしのルールなどにて利用していただきたいと考えております。

今後とも、より良い公園づくりに完成後の維持管理も含めましてご協力をお願いいたします。

11 矢田小学校PTA会長

○ 県道 309 号の矢田小南・上矢田交差点の右折車への対応

県道 309 号の矢田小南・上矢田の交差点で右折のために後続車が多くたまってしまう、信号が赤になっているのに無理して右折をする車両や信号が青になった瞬間にググッと右折する車両が多いため、通学路だけに重大な事故が発生しないか心配です。先日、京都でも大きな事故が発生しておりますので、改善してもらいたい。

特に上矢田町の交差点は横断歩道が右折者側から見えづらく、危ないです。

周辺の土地の状況を考えると道路幅を広くし、右折帯を設けるのは、困難な事が予測されるので、時差式の信号とか、右折矢印などをうまく利用し、子どもたちの安全を確保していただきたい。

建設部長／ご指摘のありました 2 つの交差点の通勤時間帯等の渋滞の発生については、大変ご迷惑をおかけしております。

また、右折時の危険運転等の貴重なご意見、ありがとうございます。

2 つの交差点ですが、信号右折矢印の設置には、右折車線設置が必要となります。

ご意見のとおり右折車線設置のための用地確保は大変困難と思われるので、交差点のカラー舗装など、他の方法を検討し、県へ要望してまいりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

【自由意見】

I 市民 I (平坂中学校区) ← () 書きはお住まいの中学校区

○ 最近市役所に出入りして感じたことを申し上げます

以前の行政は縦割りで、他の課との連携が少なく、自分の課以外のことは受けられないような状況でしたが、この頃はだいぶ変わり、横の連絡ができてきている。私どももありがたいのでさらに進めていただきたいと思っております。そうした中で 1 つ要望ですが、A という課で質問し回答をいただきましたが、同じ内容を B の課で聞いたら、やや異なった回答を受けました。これは良くないと思っておりますので、連携のとれた答えができるようによろしく願います。

神谷副市長／行政にはいろいろな組織があり、分かりにくい部分も多くあろうかと思います。ただ今、お話がありましたとおり、横の連絡ということは常に考えておりますが、回答の差はあってはならないことなので、具体的なことを教えていただければ、早速、職員にも注意いたします。よろしく願います。

II 市民II（平坂中学校区）

○ 健診の待ち時間について

私は会社の健康保険にかかっておりました。最近「健康」ということで、人間ドックや健康診断を受けますが、先日、女房が市の健康診断を受けて大変驚いていたのですが、受診するのに大勢の人がずらっと並んで待っていたそうです。しかも毎年このようです。これは何かの対策が必要だと思うし、ずっと放置されているのは、縦割りの行政のように思えます。会社なら時間を決めて、その時間に来てくださいというやり方をするので、待たせることはありません。また何か問題があれば次の年にはすぐに手を打つが、市は動きが鈍いのではないかと思います。動きやすい組織にしていってほしいと思います。

福祉部次長／大変申し訳なく思っています。一度原因を調べて時間等の調整や分けて実施するなどの配慮をしてみたいと思いますので、よろしくお願いします。

市民II／ぜひ改善できるようお願いします。

III 市民III（平坂中学校区）

○ 園児・児童の交通安全について

矢田小南の道路事情は非常に良くなく、通学路も検討が必要である。通学路は子どもの安全が第一でありますので、新しい見方を取り入れてよく検討していただきたい。特に矢田小の西門、保育園を挟んだ道路でございまして、先日も保育園のお迎えの車で危険な状況がありました。お迎えの時間は一緒なので、大変混雑します。この問題については矢田小でも検討されていると思いますが、少し離れた所に車を停めるなど、考えなければならぬと思います。私ども交通指導員も意識の向上を図り頑張っております。行政も交通安全には力を入れていただいておりますが、児童・園児の安全を最優先に考えた交通安全対策をお願いします。

子ども部長／保育園のお迎え時間が集中して車の渋滞が起こるという件ですが、地元の方にはご心配をおかけし申し訳ないと思っております。送迎の件につきましては、矢田小、矢田保育園に限らず市内36園ありますが、どこも時間が集中しており、非常に混雑を来している状況であります。市役所には市政経営品質会議という制度があり、その中で今後、子ども部の職員が混雑の解消方法について意見を出し合い、解決策を考え安全確保に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

IV 市民IV（平坂中学校区）

○ 町内に路上駐車がが多いので警察に見回してほしい

私は新在家新町の団地に住んでおりますが、周りの道路に車が駐車されており、緊急時に緊急車両が通れない状況であります。10年ほど前に火災があり、その時も消防や警察から緊急車両が通れないから何とかしてしてほしいとの苦情もありました。そこで1週間に1回でもパトロールしてほしい。パトカーが走っているイメージができれば路上駐車も減ると思います。市の方から警察へお願いしてほしい。

市長／警察署長によくお願いしておきます。

【市長 閉会のあいさつ】

長時間にわたりましてご熱心にいろいろなご意見ご要望をいただきましてありがとうございました。自動車社会でありまして、本当に道路の交通混雑には大変ご迷惑をおかけいたしております。

先日、大分県大分市で「全国都市問題研究会」というのを行いまして、これは全国の市長あるいは議員の皆さん方が一同に会しまして、これからどんな都市をつかっていったらよいかといった研究を2日間に渡って行いました。非常に多くの講師や市長のご意見等々がございまして、「これからは道路を歩く人を増やそう。これが一番大事なことである。健康を維持するためには、まず歩かないといけない。」ということをごんたもおっしゃってみえました。

愛知県の話題が二人の講師から出ました。愛知県は全国一糖尿病が多い。なぜかといいますと、「車が一番多い」と。おそらく東京の人たちの歩く距離と比べると愛知県の皆さんは3分の1も歩いていないのでは。どこへ行くにも車で行くと。そういうライフスタイルを変えていかないと健康管理ができないのではないかとということでございまして、今日もいろいろご提言をいただきました。「保育園の送り迎えで車が大変混雑する」と。私は保育園・幼稚園の子どもたちの通園範囲ぐらいならお母さんたちと一緒に歩いて送り迎えも可能ではないかと思ひます。とにかく今からは健康な人たちをいかにたくさんつくっていくか、そういう時代でございますので、皆さま方も歩くことの重要さをいろいろな所で話していただけたらと思ひます。もちろん必要な道路は何としてでも早く整備を進めてまいります。自転車の通勤を市の職員に勧めていますが、健康な人たちをたくさんつくるために、歩く機会をたくさんつくっていただけたらと思ひます。

環境美化のお話もしていただきました。確かに環境を美しくするということは、みんなでやれば必ず環境は良くなります。残念なことに車の窓からごみをポイと平気で捨てる人もまだまだたくさんみえますので、そういった意識改革を今からやっていかなければいけません。

福祉のお話もきめ細かにやってほしいとございまして。私が今一番心配をしておりますのは、若い人が子どもをつくりたがらないということです。動物あるいは、生きものの本能は、自分の子孫をいかにたくさん残すかということが一番の本能だと思ひますが、今、その本能さえも日本人は制御をしてしまっている。これはおそらく自分たちが子どもをつくっても将来幸せにならないんじゃないとか、理由はたくさんありますが、借金も国でたくさん、地方でたくさんございまして。そういったことも心配しているのかなと思ひます。とにかく高齢者の皆さまも元気を出して、いろいろな知識や体験を生かしていただきたい。皆さまでお手伝いいただき、ぜひとも安心して子どもを産んで育てられる環境をつくるのが大切であると思ひます。

それから、11月1日から4日まで花フェスタとアグリフェアを市制60周年記念事業で開催します。市外のお知り合いの方にもぜひ声をかけて、西尾のすばらしさを知っていただきたいと思ひます。

皆さまのご意見はいつでもお受けします。今日は長時間ありがとうございました。